



しらさぎ

求めて学ぶ 考えて行う 自ら鍛える

目黒区立第八中学校
学校だより NO.17
(通巻226号)
令和3年(2021)
2月1日(月)

『いのちの授業』

校長 飯野 博史

まだまだ厳しい寒さが続きますが、春の足音が確実に近づいているのを感じます。引き続き、新型コロナウイルス感染防止に努めながら教育活動を充実させていきます。

八中では毎年、人権学習と関連させながら「性に関する指導」を行っています。八中の特色の一つともなっています。

1月12日(木)に、東京都助産師会から助産師の岩佐寛子さん、大田静香さんを講師にお招きし、第1学年で「いのちの授業」、第2学年で「いのちと人権の授業」を行いました。

第1学年の「いのちの授業」では、「いのちの始まりから誕生」をテーマにお話をうかがいました。命の始まりの奇跡、成長の神秘、誕生の喜びなど、みんな真剣に耳を傾けていました。生徒の感想です。

・赤ちゃんが無事に産まれてくることはとても奇跡的なことで、その裏にはいろんな人の思いが詰まっていることを知りました。産まれてきてからもたくさんの壁があることや、人それぞれの個性について理解を深めることができました。一人一人の「命」の尊さを改めて考えるとともに、自分や周りの人たちを大切にしていこうと思いました。

■第2学年の「いのちと人権の授業」では、前半は男女に分かれ、それぞれの心と体の違いについて詳しくお話をうかがいました。普段、なかなか質問しづらい「性」についての悩みにも答えてもらいました。

後半は男女合同で、男女の交際、デートDV、妊娠、性感染症など、予め知っておいた方がよいお話を聞くことができました。

・私はあまり性のことが分かりませんでした。自分にも起こるかもしれない性感染症や性暴力などについてしっかり正しい知識を身につけて対処していきたいです。もし自分がそういう被害にあってしまったら、インターネットだけを信じたりせずに、人に相談したりして正しく対処したいです。(生徒の感想)

自分の性について正しく理解することは自己肯定感につながります。相手の性について理解することは思いやりの心につながります。「性」について学ぶことはお互いを尊重する、人権教育に深く関わっています。

なお、第3学年は3月に「性の多様性」について学習します。

■お知らせ

- ① 1月8日配布「区立中学校の冬季休業明けの教育活動について」で、学習活動・行事等の見直しが必要な期間を1月31日までとしていましたが、緊急事態宣言の解除される日までと変更します。
- ② 竹内 愛スクールカウンセラーの退職に伴い、1月から新たに富田玲子スクールカウンセラーが勤務しています。勤務日は月、木曜日です。分部あいスクールカウンセラーは引き続き火、水曜日に勤務しています。



「税金をとおして社会を考える」

目黒区立第八中学校 三年

「税」「税金」というのは、昔から、できればのがれたい嫌なものというイメージが強いと思います。歴史の勉強をしても、重い税に民衆が苦しんだという話は、よく耳にしました。奈良時代の万葉集にも、税の取り立ての厳しさを詠んだ歌はたくさんあります。その代表的なものとして、山上憶良の「貧窮問答歌」があります。この歌では、貧しくて食べるものにも困るのに役人から厳しく税を取り立てられる農民の苦しみが表されています。このように「税」というものが昔からあり、今でも「税」の重さにより家計が厳しくなった、という話を聞きます。消費税も上がり、買い物をすると思っただけで合計金額が高いこともあり、「税金」は嫌だなと思うこともあります。

しかし、私はある日、自分と逆の意見を聞いて驚きました。それは、成功してお金持ちになり高額納税者となった人が言った言葉だそうです。

「こんなにも税金が払える立場になって社会の役に立てて、たいへんうれしい。これからももっとたくさん税金が納められるよう

により働いていきたい。」と。

考えてみれば、私たちは税金のおかげでたくさん助かっていることがあります。公立の学校教育はもちろんのこと、図書館や公民館などの公共施設、ごみの収集や公園の整備、自然保護など環境を整えることや、大学や研究機関への助成金などたくさんあります。また、私が知らないだけで他にも税金の有効な使われ方があるかもしれません。

もし、私たちが払った税金が有効に使われ、社会のため人のためとなるのであれば、たしかに税金を払うことは喜びでありうれしいことかもしれません。税金をたくさん払いたいから一生懸命働く、という考え方も納得がいきます。

しかし、それは、税金がみんなの納得のいくように使われている、というのが前提になっています。時々、税金の使われ方がおかしいのではないか、という疑問も耳にします。

私たちは税金を払うだけでなく、それがどのように使われているか、知っておく必要があるのではないのでしょうか。「税金」というテーマについて、考えることは、そこから政治、経済、そして社会問題へと関心を広げていくことにもつながりがあると思います。私もこのテーマをきっかけに、政治や経済に興味ができました。喜んで税金が払える、そんな未来を創ることができればと思うようになりました。